

Osaka Metro まちさんぽ

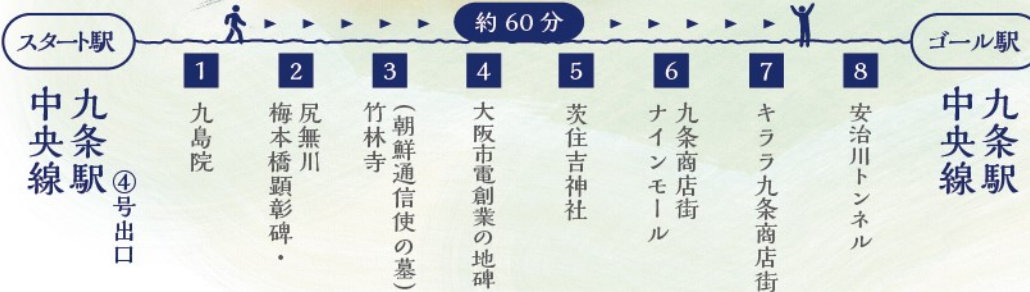
中央線 九条駅

九条下町・庶民の文明開化

九条駅
60分
コース

最初の市電が走った「西の心齋橋」

江戸時代、大川(淀川)の下流にあった島で新田開発が進み、衛戩島(くじょう)と名付けられ、のちに九条島になりました。九条島を横断して安治川が掘られ、大坂市中への水路の玄関口として発展しました。明治になると外国船が出入りして、舶来品を売る商店が並び、最初の大阪市電が走って「西の心齋橋」と呼ばれるほど賑わいました。



江戸時代初期に幕府役人の香西哲雲が土豪・池山新兵衛の助力で新田を開発し、幕府儒官・林羅山が「利便のよい豊穰な土地」という意味の衛戩島と名付けました。しかし、たびたび淀川が氾濫して水路の妨げになったので、幕命により河村瑞賢が安治川を掘りました。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

九条駅
60分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

中央線 九条駅

九条下町・庶民の文明開化

最初の市電が走った「西の心齋橋」

江戸時代、大川(淀川)の下流にあった島で新田開発が進み、衛城島と名付けられ、のちに九条島になりました。九条島を横断して安治川が掘られ、大坂市中への水路の玄関口として発展しました。明治になると外国船が入り出して、舶来品を売る商店が並び、最初の大阪市電が走って「西の心齋橋」と呼ばれるほど賑わいました。

スタート駅

約 60 分

ゴール駅

中央線九条駅④号出口

中央線九条駅

1 九島院

もともとこの地にあった草庵に禅僧・拙道が迎えられ、黄檗宗の寺院として開設されました。入仏開堂の法要に龍溪禅師を招いたとき、台風と大津波が来襲しましたが、禅師は沈着冷静、「生死は数なり」と一偈を書いて、坐禅不動、海水中に入寂されました。この「龍溪禅師の人柱」は、河村瑞賢が安治川を開削する動機になったともいわれています。



2 梅本橋頭彰碑・尻無川

大正期までここに木津川から分流した尻無川が南へ流れていましたが、川幅拡張工事にもなって大正橋のところで木津川に直結させ、このあたりは戦後に埋め立てられました。旧尻無川と木津川に挟まれた寺島につくられたのが松島新地で、梅本橋で川口の外国人居留地と結ばれていました。文明開化の大坂の新名所になりました。



3 竹林寺(朝鮮通信使の墓)

九条島で新田開発をした香西督雲と池山新兵衛が建てました。大坂で亡くなった朝鮮通信使・金漢重の墓があります。朝鮮通信使は徳川将軍が代替わりしたときに来日した友好親善使節団で、書記、医師、僧侶など時には500名以上になる大集団で、徳川幕府は手厚く処遇をなし、異国情緒あふれる行列は見物人でお祭り騒ぎになりました。釜山から来航して大坂で上陸した金漢重は、病に臥し、宿舎であった竹林寺で亡くなりました。



4 大阪市電創業の地碑

明治36年(1903)に、文明開化に賑わう九条新道の花園橋から完成した築港大棧橋へ約5km、大阪市電が開通しました。公営による電車路線は日本最初の快挙で、翌年には上部にデッキがついた「2階付き電車」が走りました。築港大棧橋は大阪の観光名所になり、市電は夏の「納涼電車」冬は「魚釣り電車」と呼ばれて人気をよびました。大阪市電は自動車化の波に押されて昭和44年(1969)に歴史を終えるまでの66年間、大阪市民の足を支えました。



5 茨住吉神社

池山新兵衛が新田と河川の守護神として創建したとされています。社名は、茨が群生していたという説や摂津菟原郡から分祠したので菟原が茨になったという説があります。ご神木の「焼け楠」は、樹齢約700年とされたクスノキが空襲で焼け、大切に保存されているものです。



6 ナインモール 九条商店街

約300m、100店舗の商店街で、近鉄パファローズ(当時)が大坂ドームをフランチャイズ球場にしてから「パファロード」と呼ばれることもあります。大阪の映画マニアの拠点のひとつ「シネ・ヌーヴォ」が近くにありま



7 キララ九条商店街

明治25年(1892)頃から続く約600m、150店舗の商店街で、そもそもは九条新道と呼ばれる大通りでした。戦前まで芝居小屋、寄席芸場、映画館が10軒余りもあって、松島新地とあわせて庶民の遊興地として大いに賑わい、「西の心齋橋」とまで呼ばれました。「キララ」という愛称はアーケード改築のときに一般公募で選ばれました。



8 安治川トンネル

安治川では、江戸時代に樽廻船、菱垣廻船などの大型帆船が運航し、明治には大型の外国船が行き通り、昭和になっても大阪中央卸売市場への大型貨物船の航路となって架橋が困難でした。かつてはこの場所に源兵衛渡しがありましたが、昭和19年(1944)に日本最初の川底トンネルが掘られ、世界的にも珍しい車両用エレベーターが設置されました。1日に1200台もの自動車が通行しましたが、安治川大橋が架橋されたのちは、車両用のトンネルは閉鎖され、現在は人と自転車のみが利用可能となっています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行: Osaka Metro

協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

